

聖地に関するもの

おいらんの墓

《勢至堂》

勢至堂屋敷の南二百メートル先の花見山の突端に、おいらんの墓といわれる墓地がある。

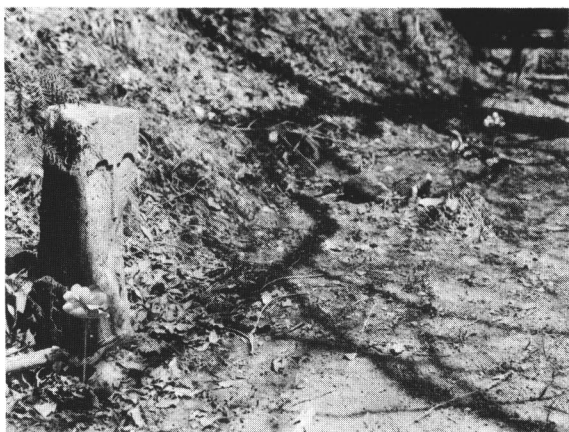
元禄年間より明治初年まで、勢至堂は会津街道の宿場として栄えて、おいらん(別名女郎)のいた宿屋は十数軒あったといわれる。

宿場の繁栄の蔭に咲いた一輪の花、路傍の名もない草花にも似た人生、貧農に生まれた薄幸な人たち渡り鳥のように、宿場から宿場にと渡り移り住んだのであろう。

一旦病に侵されると見看る人としてなく、死亡すれば引き取る身元引受人もなく無縁仏として葬られた人たちであろう。

夏草茂る墓地は、墓石もなく、ただ言い伝えが残るだけである。

(話者 石井政司)



おいらんの墓